

商学部における特色ある学部教育の補助「見学調査」 報告書

テーマ	国際ビジネスの経験と教訓を学ぶ									
科目名	GPPB2(グローバルキャリア・モンゴル)									
担当教員	高岡 正人									
調査先	モンゴル国際開発銀行（会場：OCA TOKYO プライベートラウンジ）									
調査日	2025年5月28日(水)									
参加学生数	1 年生	名	2 年生	3 名	3 年生	名	4 年生	1 名		

調査の趣旨（目的）

グローバルに活躍されてきた内田肇所長のお話を直接伺うことで、国際ビジネスの現場のリアルを知り、モンゴルでのインターンシップをより具体的にイメージする。

また、これからの人生における「働き方」や「価値の創り方」について考える貴重な機会とし、第一線で挑戦を続けてきた方の言葉から刺激を受け、視野を広げる。

調査結果

三井住友銀行の初代駐在員を務め、今は東京において日本とモンゴルとのビジネス業務に携わっている内田様から、国際ビジネスにおける経験と教訓を学んだ。これまでの経験、考え方、生き方を聞き、我々は多くの学びを得ることができた。

学生時代、インドとネパールをオートバイで旅し、アマゾン川をいかだで下ったという経験を聞き、学生時代は最も自由に挑戦ができる貴重な時期であり、新しいことに積極的に取り組むべきだと感じた。

また、内田様は経済的な理由でビジネススクール進学を断念せざるを得なかったが、制度のある企業に就職し、夢を実現されたという。さらにブラジルのSMBC支社に駐在した際には、日本人として初めて「サステナブル・アワード」を受賞した。その後、モンゴルに駐在するなど、他の人が敬遠するような仕事でも積極的に挑戦する姿勢に深く感銘を受けた。定年後もなお、二つの会社を経営し、社会への貢献を続けている内田様の生き方から、「挑戦し続けることの大切さ」を学んだ。

そして「ファーストペンギン」という言葉の紹介も印象的だった。これは、危険を承知で最初に海に飛び込むペンギンの姿を指し、挑戦者の象徴とされている。この話から、“最初に行動する勇気”の大切さを学んだ。誰もやらないことに挑むのは不安が伴うが、その一歩が周囲に与える影響は大きい。今後は、失敗を恐れず小さな挑戦を積み重ねていきたい。

内田様は「知識があれば、お金はあとからついてくる」と語っていた。この言葉から、知識はお金を生む“種”であり、将来において自分の武器となることを実感した。

内田様の講演を通じて、挑戦する勇気、知識の力、夢を持つことの重要性を学んだ。年齢を重ねてもなお自らの道を切り拓き続ける姿勢は、私たち若い世代にとって大きな刺激となった。今後は、失敗を恐れずに挑戦を続け、自らの知識を深めながら、社会に貢献する人間を目指したい。

